

福岡工業短期大学	入学定員
電子情報システム学科	245 人
OA 情報システム学科	125 人
合計	370 人
福岡工業大学附属高等学校	入学定員
電子科	100 人
電気科	100 人
普通科	350 人
合計	550 人
総計	1,814 人

この間の平成 10 年 4 月には、大学の電子材料工学科の名称を「機能材料工学科」に、平成 11 年 4 月には、電子機械工学科の名称を「知能機械工学科」に変更した。

また、この時期に特筆すべきことは、学内の議論を踏まえた上で策定された「第 1 次中期経営計画（マスタープラン）」が平成 10 年 4 月にキックオフされ、教職員の行動指針となったことである。

以降、このマスタープランを基に、学園の施策が実施されることとなった。

（五）改革期・キャンパス整備期（平成 12 年 4 月～平成 18 年 3 月）

平成 12 年度から期間付入学定員（臨時的定員）の削減期を迎え、学園全体の入学定員の再配置が必要となったことから、第 1 次マスタープランに基づき、大学の教育領域を環境系に拡大することとなった。具体化にあたっては、臨定関係委員会、新学部設置準備委員会等の審議を経た上で、平成 13 年 4 月には、大学に文系の「社会環境学部」社会環境学科（入学定員 150 人、編入学定員 30 人）を開設し、工業系大学の責務である廃棄物処理等の環境問題に人文・社会科学系から取り組むこととなった。同時に、同年は、高校改革元年として、高校の名称を「福岡工業大学附属城東高等学校」に変更し、社会に向けて「改革」の意思を宣言した。

平成 14 年 4 月、カリキュラムの充実を図るために、大学の電子工学科の名称を「電子情報工学科」に、大学院の電子材料工学専攻を「機能材料工学専攻」に、高校の電子科を「電子情報科」に変更した。さらに、本学園内における短大の位置づけを検討した結果、大学と短大の実質的な一体化を目指すべきであるとの結論に達し、平成 14 年 4 月には、短大の名称を福岡工業短期大学から「福岡工業大学短期大学部」に変更した。平成 15 年 4 月には、大学院の電子機械工学専攻の名称を「知能機械工学専攻」に変更した。この間、平成 12 年度から平成 16 年度まで大学、短大の期間付入学定員（臨時的定員）を段階的に削減した。

直近の平成 16 年 4 月には、改組諮問委員会及び改組検討委員会の議論を経て、大学の管理情報工学科の名称を「システムマネジメント学科」に変更し、大学院工学研究科に新たに「情報通信工学専攻」（入学定員 8 名）を増設した。

また、平成 17 年 4 月には、大学の機能材料工学科を廃止し、新たに「生命環境科学科」を開設、短大の電子情報システム学科、OA 情報システム学科の名称を各々「情報メディア学科」、「ビジネス情報学科」に変更した。

表 4. 改革期における学園の構成

福岡工業大学	
【工学部】	入学定員
電子情報工学科	80 人
生命環境科学科	80 人
知能機械工学科	100 人
電気工学科	80 人
計	340 人
【情報工学部】	入学定員
情報工学科	120 人
情報通信工学科	80 人
情報システム工学科	80 人
システムマネジメント学科	60 人
計	340 人
【社会環境学部】	入学定員
社会環境学科 (別途編入定員 30 人)	150 人
小計	830 人
大学院工学研究科	入学定員
【修士課程】	
電子工学専攻	8 人
機能材料工学専攻	8 人
知能機械工学専攻	8 人
電気工学専攻	8 人
情報工学専攻	10 人
情報通信工学専攻	8 人
管理工学専攻	8 人
計	58 人
【博士後期課程】	入学定員
物質生産システム工学専攻	2 人
知能情報システム工学専攻	2 人
計	4 人
小計	62 人
合計	892 人
福岡工業大学短期大学部	入学定員
情報メディア学科	105 人
ビジネス情報学科	55 人
合計	160 人
福岡工業大学附属城東高等学校	入学定員
電子情報科	100 人
電気科	100 人
普通科	350 人
合計	550 人
総計	1,602 人